

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

<インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

<研究課題名>

肝疾患におけるウイルス側因子および宿主側因子が肝病態進展ならび治療効果、肝発癌に与える影響の解析

<研究期間>

2010年7月1日 ～ 2021~~1~~6年3月31日

* この研究では、1993年4月1日から消化器・肝臓内科にて保管させていただいている、肝組織や保存血清を使用いたします。

<意義・目的>

原発性肝細胞癌および急性ないし慢性肝炎・肝硬変の肝組織所見を詳細に分析し、肝炎の進展と発癌にどのような所見が関連するのかを、1993年より消化器・肝臓内科(旧第三内科学)ないし消化器外科(旧第三外科)にて施行された肝生検組織ないし手術切除された肝組織、およびその際に採血され凍結保存されている血液について解析します。

これらの肝組織所見とウイルス側因子あるいは宿主側因子との関係を検索し、肝発癌抑止ないしは肝炎進展の抑止に重要な働きをしている因子を解明することを本研究の目的とします。

また、同意はいつでも撤回することができます。

<方法>

対象は慢性肝炎・肝硬変・肝癌の方とします。

- ① 肝生検術ないしは手術切除により採取された肝組織所見を、以下に示すごとくの各項目別にスコア化します。
- ② 肝生検時ないしは血管造影検査時および肝切除時に全血 10ml を採取し、採取した血液より血清を分離して凍結保存した血清を用いて、以下のごとく検査を行います。
 - 1) HCV コア部分アミノ酸変異ないし NS5A 部位のアミノ酸変異数を検出します。
 - 2) HBV DNA の検出を PCR 法にて行います。
 - 3) Bioplex 測定 kit を用いて血中各種サイトカイン・増殖因子を測定します。

<問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町 30-1

消化器・肝臓内科

部長

氏名：森山 光彦

電話：03-3972-8111

内線：(医局) 2424